

2 中学校

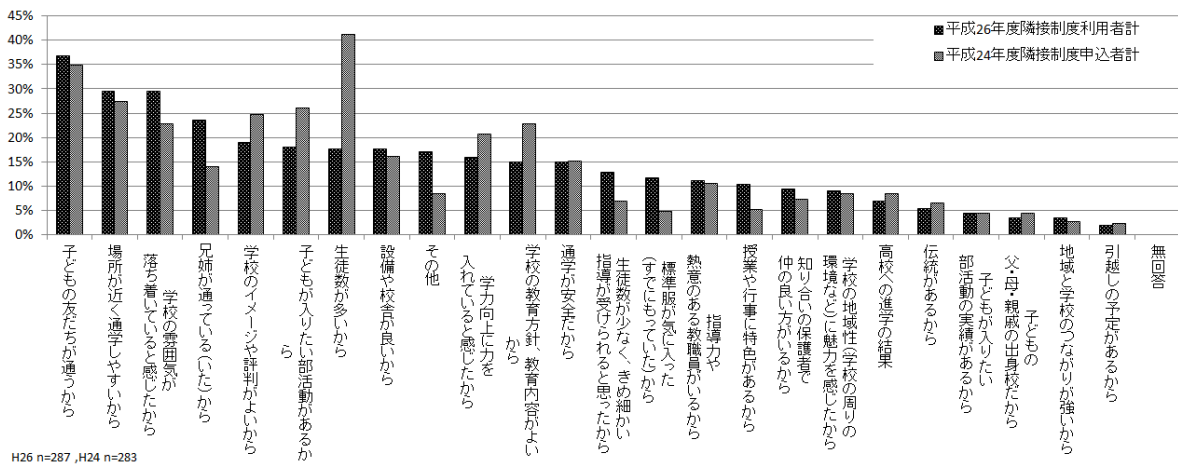
(1) 選択の状況について

①【隣接制度利用者】現在の学校への入学理由（複数回答可）
【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。】

対象；<平成26年度>区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
<平成23年度>平成24年度入学隣接中学校希望入学制度申込者

結果；「子どもの友だちが通うから」（287人中106人・37%）が最も多く、次は「場所が近く通学しやすいから」（85人・30%）と「学校の雰囲気落ち着いたから」（85人・30%）が同数となっている。

平成23年度は、「生徒数が多いから」（283人中117人・41%）が最も多く、次は「子どもの友だちが通うから」（99人・35%）となっている。



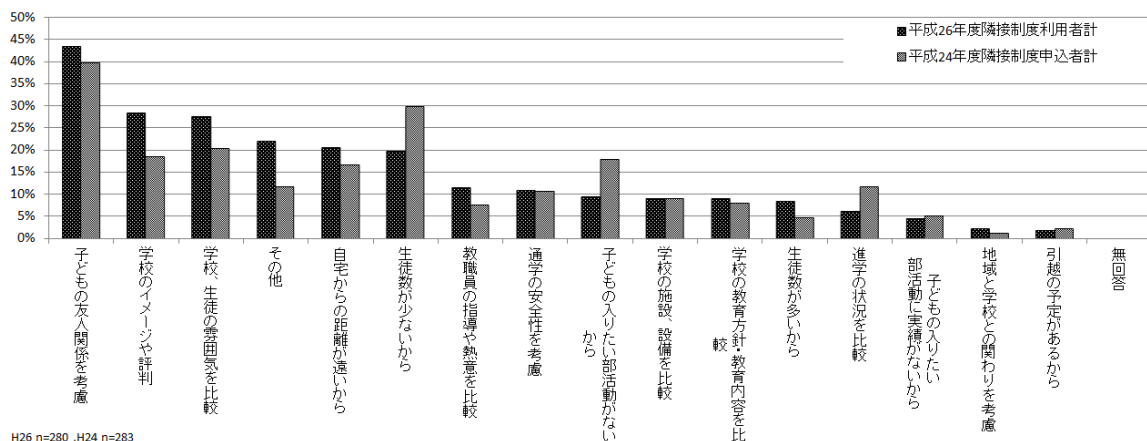
H26 n=287, H24 n=283

②【隣接制度利用者】指定校を選ばなかった理由（複数回答可）
【質問：お住まいの学区の学校（指定校）を選ばなかった理由は何ですか。】

対象；<平成26年度>区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
<平成23年度>平成24年度入学隣接中学校希望入学制度申込者

結果；「子どもの友人関係を考慮」（280人中121人・43%）が最も多く、次は「学校のイメージや評判」（79人・28%）となっている。

平成23年度は、同じく「子どもの友人関係を考慮」（283人中112人・40%）が最も多く、次は「生徒数が少ないから」（84人・30%）となっている。

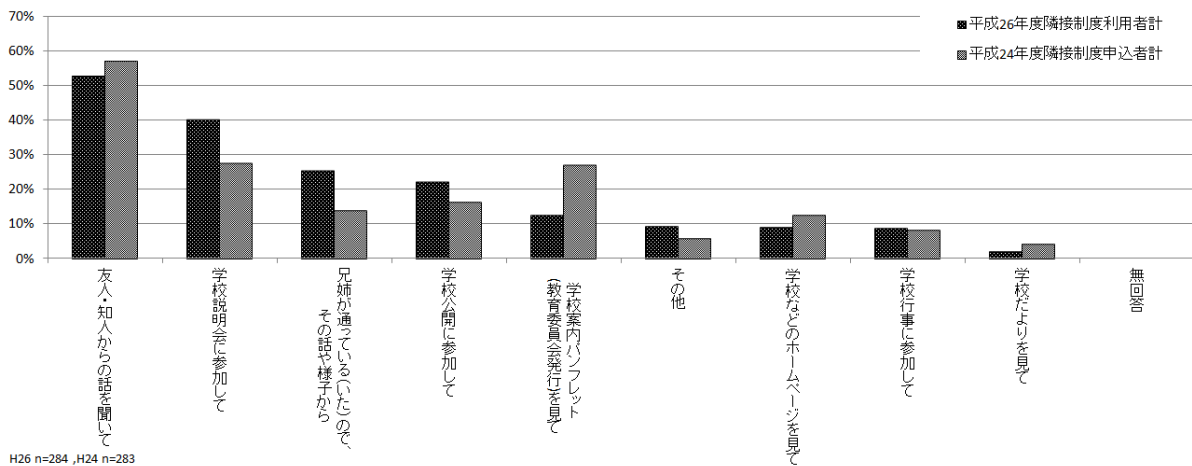


H26 n=280, H24 n=283

③【隣接制度利用者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）
【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
 ＜平成23年度＞平成24年度入学隣接中学校希望入学制度申込者

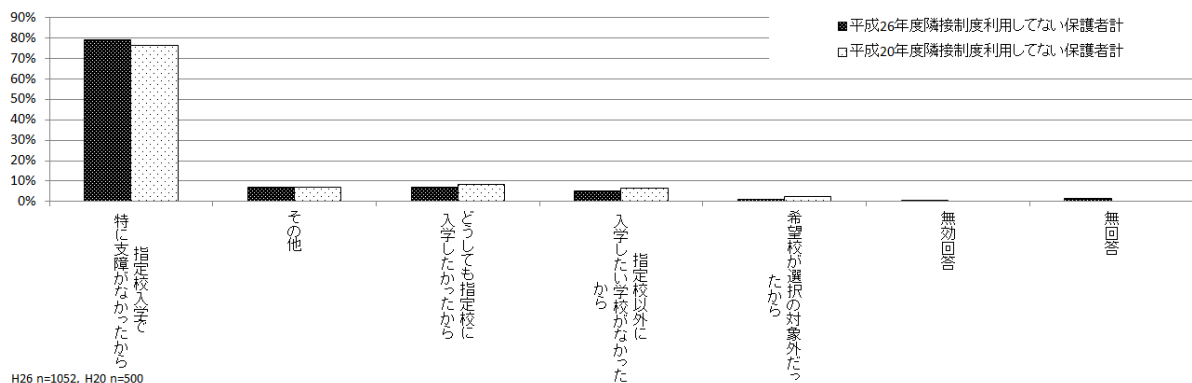
結果；「友人・知人からの話を聞いて」（284人中150人・53%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（114人・40%）となっている。
 平成23年度は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（283人中162人・57%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（78人・28%）となっている。



④【指定校入学者】隣接制度を利用しない理由
【質問：利用しなかったのはなぜですか？】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
 ＜平成20年度＞区立中学校第1学年の保護者

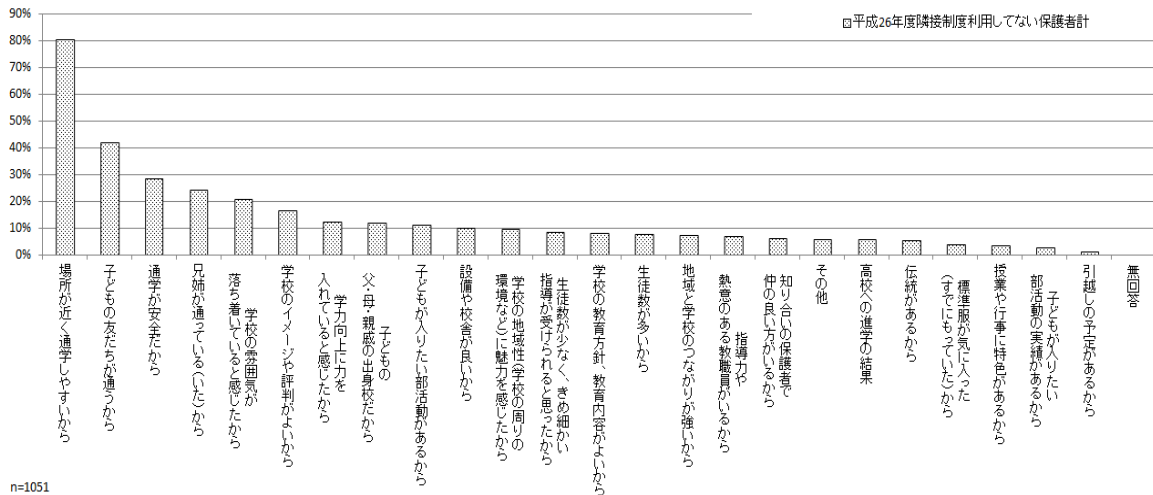
結果；指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、平成26年度は、「指定校入学で特に支障がなかったから」（1,052人中827人・79%）が、最も多くなっている。
 平成20年度は、「指定校入学で特に支障がなかったから」（500人中380人・76%）が最も多く、次は「どうしても指定校に入校したかったから」（41人・8%）となっている。



⑤【指定校入学者】現在の学校への入学理由（複数回答可）
【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 指定校入学の（隣接制度を利用してない）保護者は、「場所が近く通学しやすいから」（1,051人中846人・80%）が、最も多く、次は「子どもの友だちが通うから」（443人・42%）となっている。

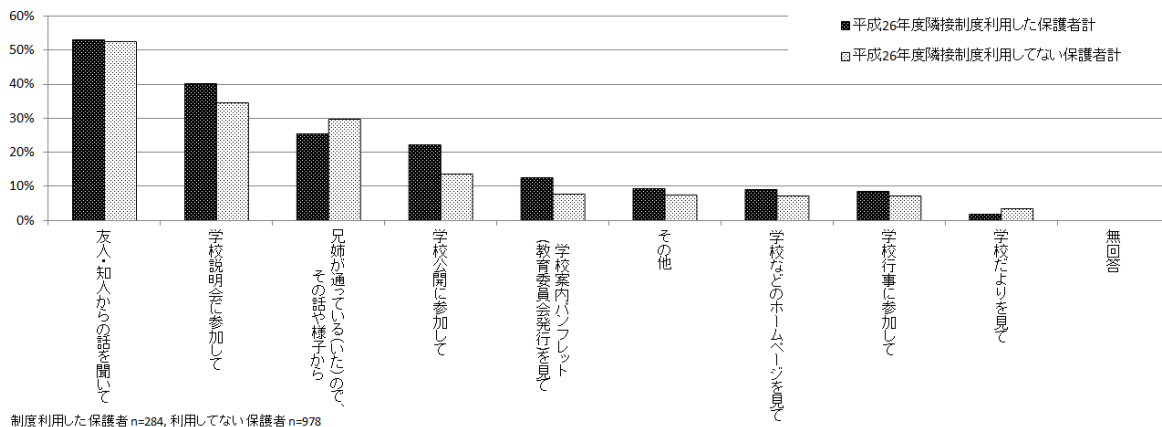


⑥【隣接制度利用者および指定校入学者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）
【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「友人・知人からの話を聞いて」（284人中150人・53%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（114人・40%）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用してない）保護者は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（978人中513人・52%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（337人・34%）となっている。



(2) 通学の安全面について

① 通学時間

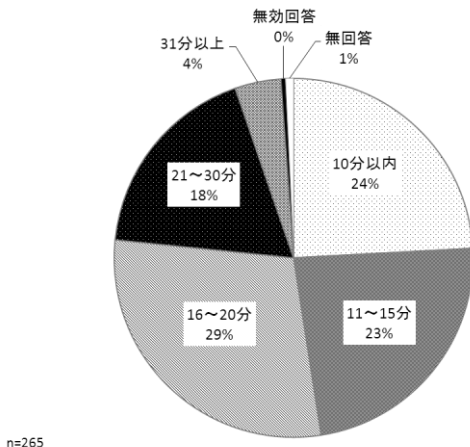
【質問：お子様の通学時間は、どのくらいですか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者

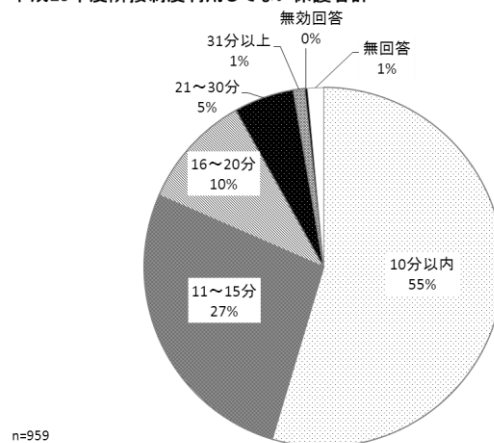
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「16～20分」（265人中77人・29％）が、最も多く、次は「10分以内」（64人・24％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「10分以内」（959人中524人・55％）が、最も多く、次は「11分～15分」（209人・35％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



② 通学上の不安

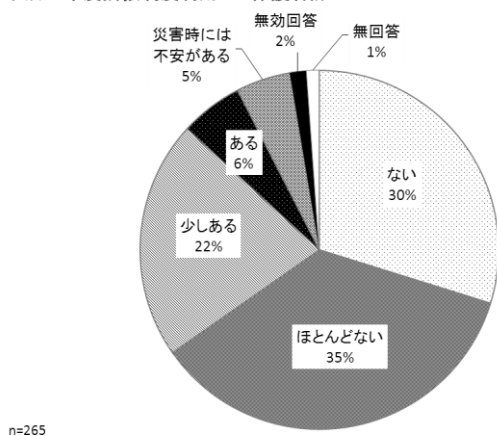
【質問：隣接制度の導入の課題として、通学上の安全があがっていますが、お子様の通学について不安はありますか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者

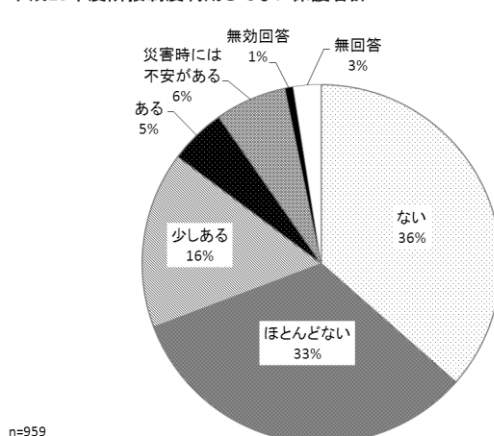
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「ほとんどない」（265人中94人・35％）が最も多く、次は「ない」（79人・30％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「ない」（959人中350人・36％）が最も多く、次は「ほとんどない」（314人・33％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



(3) 学校行事等への参加状況について

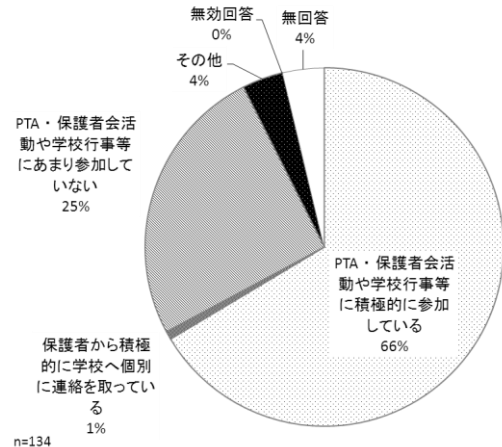
【質問：お子様が入学した学校について、保護者としてどのようなかわりをしていますか。】

対象；<平成26年度>区立中学校第2学年の保護者

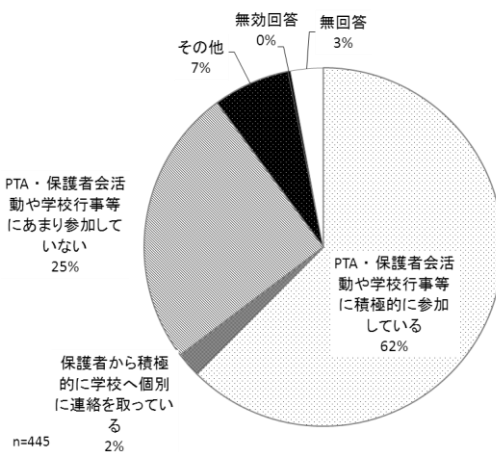
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（134人中89人・66%）が、最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（34人・25%）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（445人中278人・62%）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（112人・25%）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



(4) 学校の特色、魅力づくりの状況について

【質問：隣接制度導入は、「児童、生徒、保護者及び学校職員等の教育活動や学校運営に対する意識をより高め、学校教育の活性化と多様化を促し、学校の特色・魅力づくりを推進する」ことを目的としていますが、あなたの学校では、学校の特色・魅力づくりが今まで以上に進んでいると思いますか。】

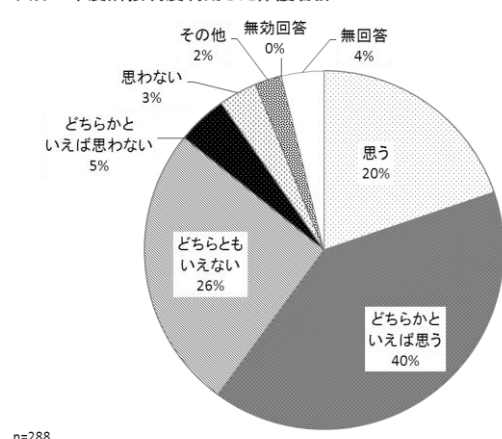
対象；<平成26年度>区立中学校第1、2学年の保護者

区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ），

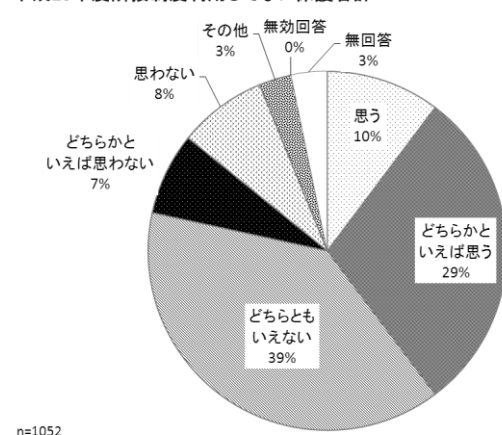
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「どちらかといえば思う」（288人中116人・40%）が最も多く、次は「どちらともいえない」（74人・26%）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「どちらともいえない」（1,052人中407人・39%）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（310人・29%）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計

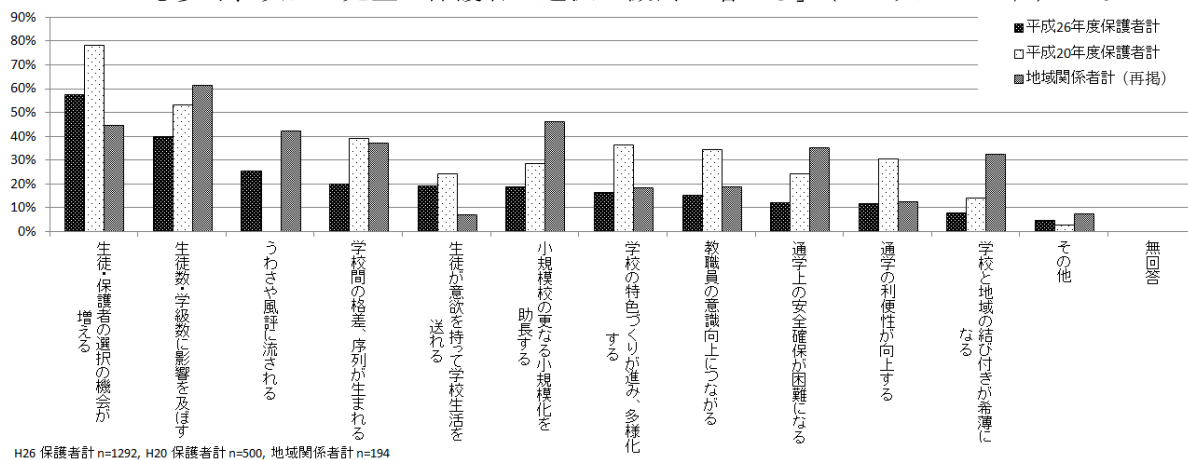


(5) 隣接制度導入による全般的な影響について（複数回答可）

【質問：お子様の学校では、隣接制度の導入により、どのような影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）、
 地域関係者（再掲）
 ＜平成20年度＞区立中学校第1学年の保護者

結果； 保護者は「生徒・保護者の選択の機会が増える」（1,292人中741人・57%）が最も多く、次は「生徒数・学級数に影響を及ぼす」（512人・40%）となっている。
 平成20年度の保護者は、同じく、「生徒・保護者の選択の機会が増える」（500人中391人・78%）が最も多く、次は「児童・保護者の選択の機会が増える」（265人・53%）となっている。
 地域関係者は「児童数・学級数に影響を及ぼす」（194人中119人・61%）が最も多く、次は「児童・保護者の選択の機会が増える」（86人・44%）となっている。



(6) 保護者の意識変化について

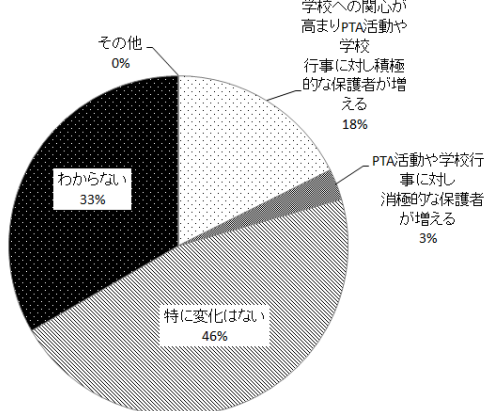
① PTA活動等への影響

【質問：PTA委員の方のみお答えください。あなたの学校では、隣接制度の導入によりPTA活動等への影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者（PTA委員のみ）、
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

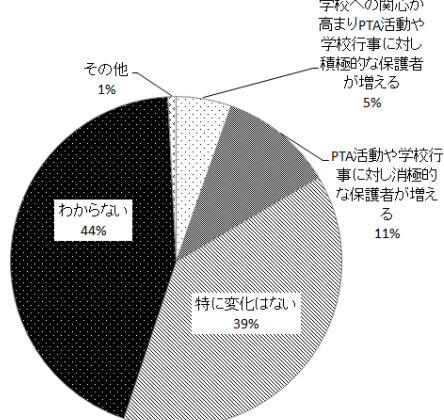
結果； 隣接制度を利用したPTA委員は、「特に変化はない」（288人中47人・46%）が最も多く、次は「わからない」（34人・33%）となっている。
 指定校入学の（隣接制度を利用していない）PTA委員は、「わからない」（370人中163人・44%）が最も多く、次は「特に変化はない」（143人・39%）となっている。

平成26年度隣接制度利用したPTA委員の保護者計



制度利用したPTA委員 n=102 (無効回答・無回答186人を除く)

平成26年度隣接制度利用していないPTA委員の保護者計



制度利用していないPTA委員 n=370 (無効回答・無回答682人を除く)

(7) 地域行事への参加度について

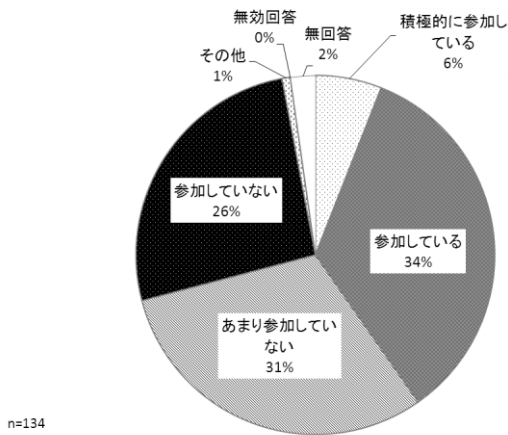
【質問：お子様は、通学している学校の通学区域内での地域（住区、町会・自治会、商店街等）の行事に参加していますか？】

対象；＜平成26年度＞区立中学校第2学年生徒の保護者

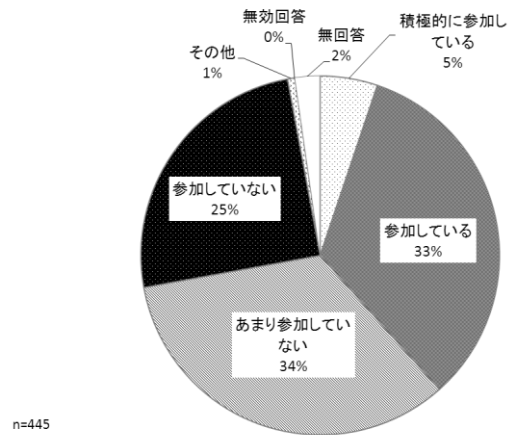
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「参加している」（134人中人・34％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（41人・31％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「あまり参加していない」（445人中150人・34％）が最も多く、次は「参加している」（148人・33％）となっている。

平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



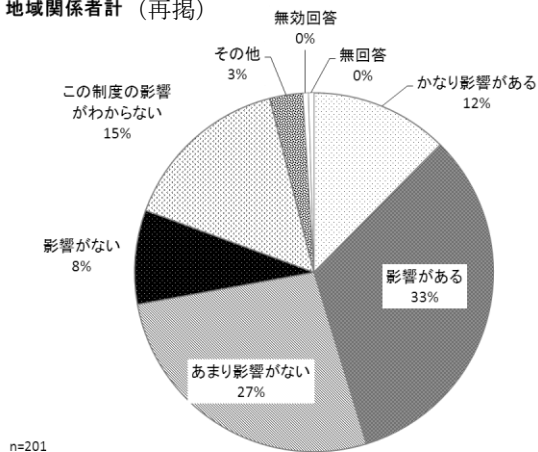
(8) 地域行事の参加率への影響について

【質問：あなたの地域では、この制度により地域行事の参加率に影響がある（あった）と思いますか？】

対象；地域関係者（再掲）

結果； 「影響がある」（201人中66人・33％）が最も多く、次は「あまり影響がない」（54人・27％）となっている。

地域関係者計（再掲）

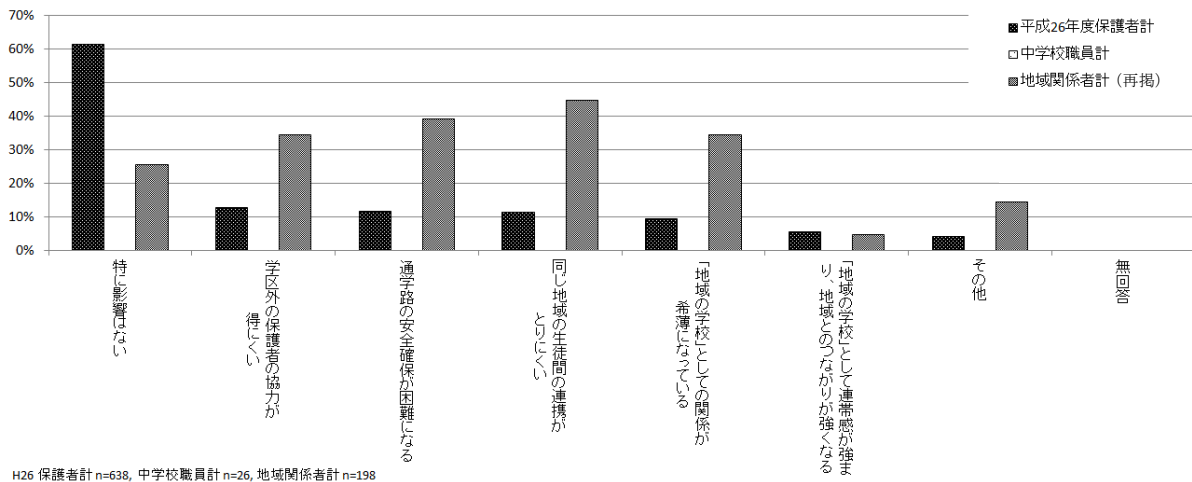


(9) 地域とのつながりへの影響について（複数回答可）

【質問：お子様の学校では、隣接制度の導入により、地域（地域住民、住区、町会・自治会等）とのつながりにどのような影響がある（あった）と思いますか】

対象； <平成26年度> 区立中学校第2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）、
 地域関係者（再掲）

結果； 保護者は、「特に影響はない」（638人中391人・61％）が最も多く、次は「学区外の保護者の協力が得にくい」（81人・13％）となっている。
 地域関係者は「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（198人中88人・44％）が最も多く、次は「通学路の安全確保が困難になる」（77人・39％）となっている。



(10) 隣接制度のあり方について

【質問：今後の目黒区の隣接制度について、あなたのご意見を伺います。】

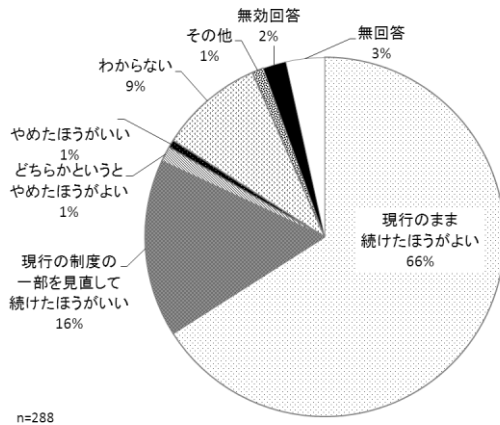
対象； <平成26年度> 区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）、
 地域関係者（再掲）

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（288人中190人・66%）が最も多く、次は「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（46人・16%）となっている。

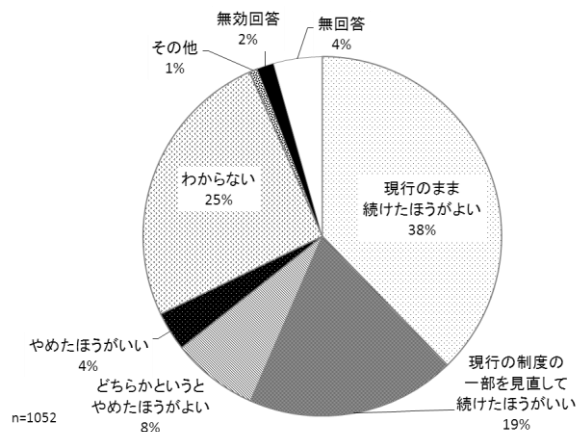
指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（1,052人中397人・38%）が最も多く、次は「わからない」（268人・25%）となっている。

地域関係者は、「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（201人中53人・26%）が最も多く、次は「どちらかというをやめたほうがよい」（47人・23%）となっている。

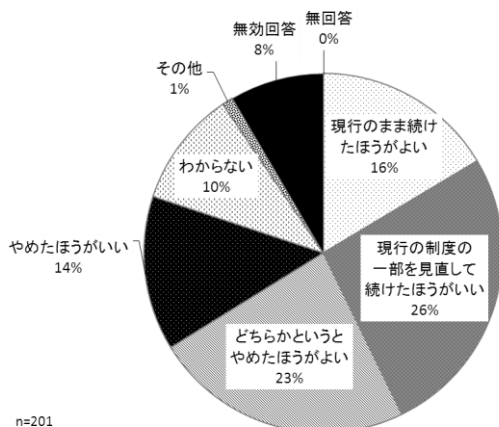
平成26年度隣接制度利用した保護者計



平成26年度隣接制度利用していない保護者計



地域関係者計（再掲）



主な自由意見について

【中学校保護者の自由意見】 総件数； 216件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	それぞれのご家庭の事情があるので、隣接制度により学校を選択できることは、中学3年間子供をあずける親にとっては納得して通わせられるのでうれしいと思う。	23
2	噂や風評に流されやすく、生徒数、学級に影響がでていると思われます。部活等も成り立たなくなって無くなってしまつて残念。今、一度見直してみるべきかと思う。	11
3	選択 できる枠を広げてほしい。隣接に限らずどこの学校でも希望すれば通学できると良いと思う。人気がある、ないがはっきりし、教員の質が向上するのではと思う。教育面、生活面共に指導力が不足している。	10
4	児童数の少ない学校を早く統合しないと、どんどん児童数のかたよりは進むし、それにより部活動の種類も減り、魅力がますますなくなり人数減少を助長してしまうと思う。	7
5	保護者間の会話の中で近隣の学校の良いうわさ、悪いうわさがよく話題になる。隣接制度を利用される方の中でも、うわさ話も選択する時に考慮される方もいると思う。そのような風評で学校を決められるのは残念な気がする。納得のいくような理由での選択はとてもよい事だと思う。そのような点を見直して頂きたい。	6
6	いじめなどで登校が困難な場合などは良いと思われるが、学校の評判で制度を使うことが多いと聞く。学校の格差が出ているのは目に見えてわかる。	6
7	本人の意志で学校を選択することはあつてよい制度だと思う。	5
8	今度、隣接制度の見直しをしていただき感謝している。学校を選べることでよい点もあると思いますが、小学校は特に地域との関係が希薄になる原因になり、友達との関係もまた安全面においても不安要素が出ている。また、どうしても小規模校はより小さい方へ流れてしまい、在校生への弊害が出てくる。全く指定校から変えられないことは問題があるが、是非見直しをし、地域性を持った学校が保てるようお願いする。	4

【地域関係者の自由意見】総件数；99件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	この制度は小規模校のさらなる小規模化を助長するものであり、地域に根ざした学校をめざすべきである。	11
2	地域の中で、地域と学校が一体となって児童生徒を育成していくことが大切なので、地域の学校へ行くべき。	9
3	小学校については安全面の事もあり、本人の意志も確認しにくく、やめた方がよいと思う。中学校の場合は本人の意志が明確な年代であり、いじめ等の問題もかかえる上、安全も本人が守れるので、隣接入学はよいと思う。	8
4	当住区町会では、入学者数減少のため参加者が非常に少なく、また児童・保護者の協力も得にくい。	6
5	同じ町会内で隣り同士の子どもが異なる学校へ行く事になり、関係が希薄になってきている。また、通学路が異なり、交通安全や防犯面での安全確保が困難であり、町会、住区行事での連携が取りにくく、支障をきたしている。	4
6	未就学児の保護者は、児童数、学級数、うわさが一番の判断材料である。	2
7	公立学校間の格差があってはならないと思う。特に小学校において、競争原理を導入するかのような制度は害の方が多いと感じる。子どもにとってより必要なのは担任の先生の質向上であり、地域住民に温かく見守られて成長することだと考える。	2
8	公立学校はどこへ行っても同じ教育が受けられることを強調すべき。通学の安全を考えても、地域の学校へ通うのがベストだと思う。	2
9	児童が地域の学校に通うことで、地域社会が活性化することにつながると考える。学校どうし競争する社会から、協調する社会への転換を図る時代になったという認識を深めたい。	2
10	学校の統廃合を進めている中で、併行して隣接学校希望入学制度を導入したのは、意義をよく理解出来ない。いずれ小学校も少子化で統廃合の対象になるのではとうわさが飛んでおり、各学校の特色を出す云々の所もあいまいになっていくのではと懸念している。	2